

青年部定期委員会開催

90年決戦の先頭へ!



9.24-25 鹿野山センター
活発な討論を通し方向性を決定

九月二四日(二五日)、鹿野山センターにおいて第十二回動労千葉青年部定期委員会が開催された。各支部より結集した四二名の委員・傍聴者・役員によって闘いの方針と方向性が決められた。九〇年決戦に勝利すべく、新たに選出された役員を先頭にして、闘いに起とう

ある清算事業団闘争に勝利していくために、活発な議論をお願いしました」と課題を提起して議事に入った。

杉本青年部長のあいさつにつづいて、来賓あいさつの最初に、木村動労水戸青年部長がたち「水戸車掌区の過労死事件に示されるように、職場はたいへんな事態になっていきます」と共闘の表明がなされた。

議案に入り、佐藤副青年部長が、闘いの総括を提起。これにもとづいて伊藤君(銚子)と伊藤君(新小岩)の意見表明がなされ、八・六ヒロシマ派遣報告を前田君(佐倉)、八・九ナガサキ報告を国分君(新小岩)が行う。さらに、春闘報告を、岩立君(幕張)、篠田君(佐倉)が述べる。そして清算事業団より中村君が「現在、団体署名要請を全力でやっています。あと半年、これからもよろしくお願いします」とあいさつ。また、争議団(被解雇者)より川崎君が「解雇されて四年目に入る。皆さんにはげまされると同時に、組合員の皆さんを上げまそうと思ひ、今後も闘っていく」と表明。拍手でこれにこたえた。

情勢の提起を鈴木(木更津)、服部(新小岩)、永井(銚子)各常任が行い、闘いの基調を杉本青年部長が提起。多岐にわたる問題点を討論して初日の会議を終了。

二日目、具体的方針案が提起され、これをうけて齊藤君(新小岩)の「清算事業団スト決起と十・二二三里塚大動員を実現する」という決意表明

功を動労千葉大会にもちこみ、分割・民営化体制粉砕にむけ、進撃してこよう。首切り撤回! 清算事業団闘争勝利にむけ全組合員のスト決起をかちとれ!

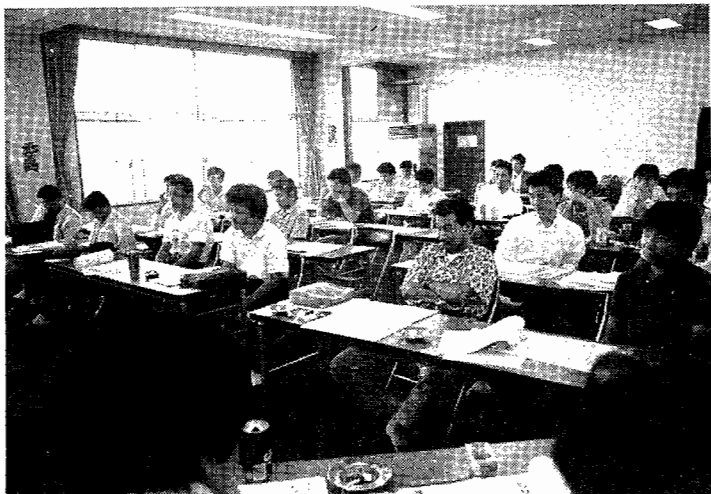
来賓あいさつ

中野委員長が約三〇分間にわたって本部としての情勢認識と、今秋(来年三月過程)におけるストライキ設定の方針と取り組みについて述べられた。

なお、今定期委員会に三里塚反対同盟青年行動隊・宮本衛氏、東京都議会議員・長谷川英憲氏よりメッセージ・檄電をいただきました。ありがとうございました。

青年部長 杉本則夫 総武 三一
副青年部長 服部和夫 新小岩 三〇
" 関 道利 総武 二七
書記長 佐藤正和 新小岩 二九

定期大会の様子



中野委員長の発言、
全員が真剣に耳をこらる。

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!